

授業改善 3つの強化ポイント 2017 (社会編)

① 児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫

- ◆学習指導要領の内容を理解し、本時の目標を明確にすることが大切です。
- ◆教師が意図的に社会的事象と出合わせ、児童生徒が取り組みたくなる課題を提示することが大切です。

(1) 児童生徒に疑問が生まれるようにする

(例) 参勤交代について2つの資料を提示する。
「加賀藩の参勤交代図」
「参勤交代にかかる日数」(日本地図)

(2) 疑問を学習課題にする

- ・必然性があり、考えたい課題を設定する。

学習課題(例)「江戸幕府は、なぜ参勤交代を大名にさせたのだろう。」

(3) 解決の見通しを持たせる

- ・解決に向けての学習計画や課題に対する予想を立てられるようにする。
→「何を」「どのように」「どの順番で」「まとめ方は」などの計画。

(例)「幕府は、武士の力を人々に見せたかったんじゃないかな。調べてみよう。」

児童生徒の問いや気付きを引き出す工夫を!!

- ・ICTの活用や実物の提示など



金沢から13日もかけて歩いて行ったんだ!



なぜ大名は、こんなにたくさんのお金を連れて江戸に行ったのだろう?



② 考えを広げ深める対話的な学びの充実

- ◆本時の課題を解決するために、一人一人が調べたこと(事実)を根拠にして互いの考えを深め合う話し合い活動が大切です。



◇思考方法の一例◇

- 「比較」……情報を「比べる」
- 「関連付け」……情報を「つなげる」
- 「総合」……情報を「まとめる」
- 「再構築」……学習したことを「組み直す」

- ・これらの思考方法を効果的に使い、自分の考えや新たな問いを持つようにする。

- ◆児童生徒の考えが深まるように、意見の取り上げ方や問い返し・ゆさぶりを工夫することが重要です。

- ・今、ホテルに泊まったら一人1万円だとすると、13日で行くことになるかしら。
- ・食費も計算するといいかもしれないね。
- ・インターネットを使えば、金沢と東京の距離が分かるはずだよ。調べてみるよ。

譜代・外様など大名の配置を思い出してみよう。幕府が定めた武家諸法度も確認してみよう。



大名は、ずいぶんたくさんのお金を使っているわ。



有力な外様大名が、江戸から遠く離れたところに配置されている意味がよくわかったよ。

③ 学びを自覚し、次につながる振り返る活動の充実

- (1) (まとめの内容を学習課題と整合させるために) 再度本時の課題を意識させ、できるだけ児童生徒の言葉で学習のまとめを行います。

(例)「幕府は、大名が反抗する力をつけないうちに参勤交代の制度を定めた。」

- (2) まとめたことに加えて、「なぜなら」「それで」と根拠を自分で書くことも大切です。

(例)「なぜなら、大名は参勤交代や江戸で生活するために、とても多くの費用がかかったからです。」

- (3) 児童生徒が、自らの予想や気づきを振り返ることも大切です。

(例)「下剋上があった戦国時代と違い、江戸幕府はとても強い力を持っていたと思います。」

自分なりの考えや疑問が、次時への意欲につながります。

- ◆振り返る活動では、固有名詞や社会科の学習用語を使うことが重要です。

- ◆振り返ることは、自分の思考を整理することに有効です。

- ◆本時の学習を振り返ることができる板書になっていることが大切です。

